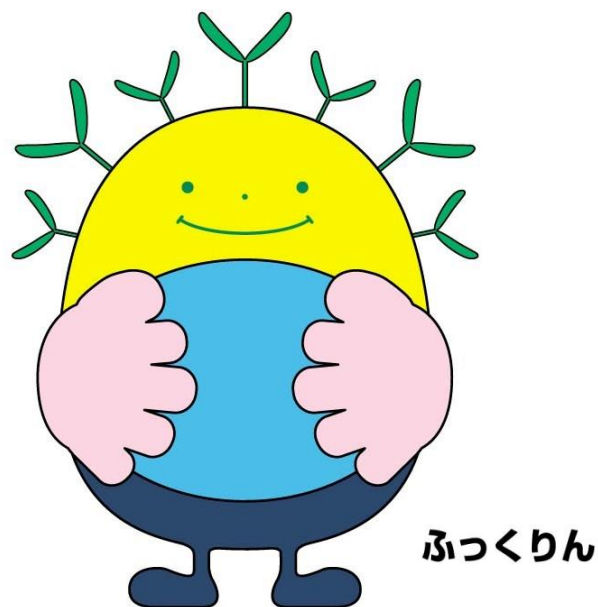


令和2年度 ふくいの木の利用の促進に関する施策の実施状況



1 県産材の利用推進

- 中大規模木造建築物の設計者を育成する「ホルツアーキテクト育成講座」を開催(10月～12月)
(中大規模建築物での県産材利用を推進)
- 万博記念公園(大阪府)内の案内板や全国の特産物販売店(東京都:まるごとにつぽん)の陳列棚など県外施設に県産材を利用
- 県内のショッピングセンターにおいて「福井の木ができること」をテーマに県産材製品の展示会を開催(3月27日、28日)



ホルツアーキテクト育成講座



万博記念公園内での利用例
(大阪府)



県産材製品の展示会
(アピタ福井大和田店)

2 新たな分野での利用開拓

- 観光地向けのデッキチェアなど新たな県産材商品(3商品)を開発
- 東京で開催された大規模建材展「ジャパンホームショー」への出展(11月)や台湾での住宅関連資材の常設展示(1月~3月)、台湾企業とのオンライン商談会の開催(1月)により販路を開拓



県産材商品の開発
(デッキチェア)



ジャパンホームショー
(東京都)



台湾企業とのオンライン商談会

3 合板、木質バイオマスでの利用拡大

- 合板工場や木質バイオマス発電施設に対し、県産材を安定的に供給
- 森林整備を促進し県産材の生産拡大を図るため、森林組合など素材生産事業者からなる「ふくい県産材生産拡大協議会」の組織化への支援
- 温泉施設ボイラーを増設し、森林資源をエネルギーとして、同一地域内で利用する取組みを推進



福井県産スギ合板
(合板工場：県外)



ふくい県産材生産拡大協議会



温泉施設ボイラー
(あわら市)